



## 一緒に『おもしろい大学』をつくろう

### 新時代に備えた能力を身に付けよう

我が国は今、超スマート社会「Society5.0」を目指して、情報を系統的に活用し、いかに社会に役立てていくかを考える時代に入っています。そこでは文系や理系、医薬系の学問が連携・融合した新しい「知」の創造が求められています。

このような時代の変化に対応し、富山大学では2020年度より「データサイエンス」教育を新入生全員に行うことになりました。理系の学生のみならず、文系の学生もこれからの社会で活躍していくためには、統計学やプログラミングを含むデータサイエンス分野の能力が必須であるからです。また、修了時には修了証書を手渡しますので、就職時のメリットにもなり、社会で大きく活躍していただけます。

専門分野を繋げていくためには「ネットワーク」の形成が鍵になります。本学では2018年度から教養教育を一元化し、学部垣根を越えて学ぶことができる体制をつくりました。上位学年においても、地域課題を学部横断型で取り組む授業を予定しています。学生の皆さんには、授業や課外活動を通して、他学部の学生や異なる専門の教員、さらには地域の方々との多様なネットワークをつくって貰いたいと考えています。また、ITを活用した遠隔授業も2020年度から積極的に導入いたしました。

富山大学は、1875年の開学から144年の歴史の中で常に理想の高等教育を求めて進化を重ねてきました。2005年には全国で唯一、3つの国立大学法人を再編統合し、新しい富山大学が誕生しました。2018年には、「未来の街を創造する」という特色を持つ新学部「都市デザイン学

部」を加え、現在は9つの学部と附属病院、和漢医薬学総合研究所などに、約1万名の学生と2,500名余の教職員が所属する大規模な総合大学に成長しました。

研究面では、「知の東西融合」を理念にフロンティアの学術活動を海外の大学や研究機関と推進し、国内外に発信しています。地域においては、「地（知）を楽しみ、知（地）を活かす」創造的で革新を生み出せる人材育成の拠点として、政財界・産業界・教育界と連携し、地域に密着した取り組みを積極的に展開し、COC+事業ではS評価を受けています。

2019年度からは新しい体制がスタート。これまで以上に地域に出向き、社会を開拓する新しい学問を創出すると共に、世界レベルの先端研究を推進する魅力溢れる『おもしろい大学』にしたいと考えています。



### 富山の魅力で人生の宝づくりを

本学の位置する富山県は、歴史・伝統に育まれた「薬都」、「ものづくり県」、「教育県」として知られています。地理的には関東、関西、中京圏からほぼ等距離にあり、富山で生まれ育った多くの企業が全国・世界規模で活動を展開しています。県内には、3,000メートル級の立山連峰から深さ1,000メートルの富山湾まで、高低差4,000メートルの壮大で美しい自然とその中で育まれた多彩な文化資源とがあります。豊かな富山県全域を活動の場として、学生生活を楽しんでください。富山で暮らし学ぶ時間が、皆さんの人生にとって素晴らしい宝になると確信します。来春の入学式で皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

富山大学長 齋藤 滋

## INDEX

- 01 学長挨拶・目次
- 03 教育の特色
- 09 学部選び INDEX
- 11 学部紹介
- 29 大学院
- 31 就職支援・キャリア支援
- 35 国際交流
- 37 課外活動紹介
- 39 学生生活
- 42 富山大学をもっと知りたい方へ
- 43 キャンパスマップ・アクセスマップ
- 47 入試状況
- 49 入試関係